



SSD Utility
ユーザーガイド
ソフトウェアバージョン 6.5.0.04

目次

はじめに.....	1
主な機能.....	1
システム要件	1
SSD Utilityのインストール.....	3
WindowsでのSSD Utilityのインストール.....	3
ブート可能メディアの作成	3
ブート可能メディアによるSecure Erase	3
SSD Utilityの起動.....	4
SSD Utilityのアンインストール.....	4
USBフラッシュドライブからブート可能メディアを削除.....	4
SSD Utilityの機能	8
UIの概要.....	8
機能概要.....	9
パスワード保護機能について	11
EXCERIA ポータブルSSD XS700.....	11
EXCERIA PLUS ポータブルSSD.....	24
EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSD	38
PSIDについて	56
対象製品.....	57
エラーメッセージ	58
商標について.....	60

© 2025 キオクシア株式会社. All Rights Reserved. 方法や形態を問わずキオクシア株式会社からの書面による許可なしに、本ドキュメントのいかなる部分を複製することも、派生著作物(翻訳、変形処理、改作など)の作成のために使用することも禁止します。

通知

本ガイドに含まれる情報は、予告なく変更される可能性があります。キオクシア株式会社およびその関連会社（「キオクシア」）は、本ユーザーガイドまたはここに記載されたその他の情報に関する保証は一切提供しないものとし、それらに関連して、特定目的に対する商品性または適合性についての一切の默示の保証をここに明示的に否認します。キオクシアは、本ガイドに含まれている技術的な誤りまたは誤字脱字、あるいは対象製品とガイドとの間の不一致などから直接的にまたは間接的に発生した損害について、一切の責任を負わないものとします。いかなる場合も、キオクシアは、それらが不法行為、契約、その他に基づくものであれ、本ガイドまたはここに記載されたその他の情報、またはその使用から、もしくはそれらに関連して発生した偶発的、結果的、特異的、典型的な損害に関する責任を一切負いません。

免責事項

本アプリケーションを使用することによって生じる損害・損失に関して、当社は一切の責任を負いません。本アプリケーションは「現状有姿」にて提供されるものとし、いかなる保証も付されません。前記に制限されることなく、キオクシアは、商業性の保証、目的適合性の保証、あるいは第三者の権利の非侵害の保証を含め、明示的にも黙示的にも、アプリケーションに関わるいかなる保証も致しません。キオクシアは、アプリケーションの動作が中断しないことも、エラーがないことも、安全であることも保証致しません。インストールまたは、アプリケーションの使用は、お客様ご自身の責任で行ってください。本アプリケーションに掲載される製品画像はイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

SSD Utilityに関するキオクシアお客様サポート

キオクシア株式会社 製品には、無償のキオクシアお客様サポートが含まれております。インストール等やエラーメッセージの対処方法で対処しきれない場合は、<https://personal.kioxia.com/support/> からお問い合わせください。

はじめに

SSD Utilityではサポート対象のSSD(以下、「SSD」、「ドライブ」もしくは「デバイス」といいます。)を管理し、最大限に活用することができます。

主な機能

SSD Utilityでは、以下を行うことができます。

- SSDのステータスの表示
- SMART属性の詳細ビューの表示
- SSDファームウェアの更新
- データを回復不能にするためのSecure Erase
- SSD、コンピュータ、SSD Utilityの詳細なビューおよびログの問題診断におけるキオクシアお客様サポートを支援
- ドライブの正常性、信頼性、温度に関する問題のアラートを受信
- パスワード保護によるセキュリティ強化(一部製品のみ)

SSD Utilityの機能の詳細については、8ページの「SSD Utilityの機能」を参照してください。

システム要件

サポート対象のSSDには以下があります:

	Windows 11	Windows 10 x64
EXCERIA PRO G2 SSD	✓	✓
EXCERIA PRO SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS G4 SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS G3 SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS G2 SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS SSD	✓	✓
EXCERIA G3 SSD	✓	✓
EXCERIA G2 SSD	✓	✓
EXCERIA SSD	✓	✓
EXCERIA BASIC SSD	✓	✓
EXCERIA with Heatsink SSD	✓	✓
EXCERIA SATA SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSD	✓	✓
EXCERIA PLUS ポータブルSSD	✓	✓
EXCERIA ポータブルSSD XS700		✓

⚠ 注意: インストールを開始する前に、SSD上の保存しておきたいデータのバックアップコピーを必ず作成してください。一部の操作では、SSD上のデータが完全に失われます。

(i) SSD Utilityを使用する前に、以下をご確認ください。

- SSD Utilityは、ハードウェアRAIDもしくはソフトウェアRAID、Windows記憶域上のあるSSDを認識しません。また、Windowsインボックスドライバーまたはインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー(インテル® RST)ドライバー以外のドライバー環境ではあるSSDを認識しません。

- SSD Utilityは、各ドライバーに対して以下の機能をサポートします。

ドライバー	SSD 概要の取得	SMART の取得	アラート	ファームウェア更新	Secure Erase	パスワードによる保護
Windows インポックス ドライバー	✓	✓	✓	✓	✓	✓(*1)
Intel® RST 18	✓	✓	✓	✓(*2)		✓(*1)
Intel® RST 19	✓	✓	✓	✓(*2)		✓(*1)
Intel® RST 20	✓	✓	✓	✓		✓(*1)

*1: この機能はポータブルSSD専用です。

*2: この機能はSATA SSDおよびポータブルSSDに対応しています。ただし、NVMe SSDはサポートされていません。

- 廃棄、譲渡などSSDを手放す際は、データ漏洩の観点からSecure Eraseを実行する事を強く推奨します。
- SSD Utilityを管理者として実行する必要があります。
- ファームウェアの更新には、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。
- Secure Erase / フォーマットNVMe™用のブート可能メディアを作成するには、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。
- SSD Utilityの動作についてお困りの際はキオクシアお客様サポート (<https://personal.kioxia.com/support>)へお問い合わせください。

SSD Utilityのインストール

このガイドでは、SSDが既に正しくインストールされていることを前提としています。以下のことを行うことができます。

- WindowsでのSSD Utility のインストール。
- ブート可能メディアの作成。これにより、オペレーティングシステムではできないことができるようになります。例えば一部のSSDまたはシステムブートドライブの場合、オペレーティングシステム上からSecure Eraseを行うことができません。このブート可能メディアはUSBフラッシュドライブに書き込みます。

WindowsでのSSD Utilityのインストール

インストーラを実行し、画面上の手順に従います。

ブート可能メディアの作成

USBフラッシュドライブを使って、ブート可能メディアと呼ばれるブート可能なツールを作成することができます。

このブート可能メディアはお使いのコンピュータのSSDのSecure EraseやフォーマットNVMeを行なうことができます。

SSD Utilityは、必要な場合のみブート可能メディアの作成を促します。そのような画面が表示された場合は直ちに画面に従ってブート可能メディアを作成してください。

作成作業は Secure EraseやフォーマットNVMeが実行されるため、SSD Utilityの機能に熟知することを前提としています。

! 注意：作成作業を始める前に、SSDおよびUSBフラッシュドライブに保存されているデータのバックアップを行ってください。

ブート可能メディア作成中にUSBフラッシュドライブにあるすべてのデータが消去されます。

USBフラッシュドライブの容量は最低128MB必要です。

保存されたファイルが任意のWindowsシステムから簡単に読み込めるようにするために、

USBフラッシュドライブはFAT32に自動的にフォーマットされます。

コンピュータにSSD Utilityのサポート対象外SSD(以下、「サポート対象外SSD」といいます。)が接続されている場合、ブート可能メディアの機能が正常に動作しない場合があります。ブート可能メディアを使用してSecure Eraseを行う際は、お手数ですが、サポート対象外SSDをコンピュータから取り外してから行ってください。ブート可能メディアの動作にお困りの際はキオクシアお客様サポート (<https://personal.kioxia.com/support>)へお問い合わせください。

ブート可能メディアによるSecure Erase

1. 作成済みUSBフラッシュドライブをコンピュータに挿入し、コンピュータを再起動します。
2. BIOS設定にてお使いのUSBフラッシュドライブからブートするように設定してください。
詳細な設定方法についてはお使いのコンピュータ関連ユーザードキュメントを参照してください。
BIOSがUEFIとLegacyブート両方をサポートする場合、最初にLegacyブートを選択します。
Legacyブートが正常に行われない場合のみ、UEFIブートを利用する必要があります。
3. コンピュータが起動しますと、自動的にブート可能メディアが作成されたときに選択されたSSDに対して自動的にSecure Eraseが実行されます。

すべてのデータがSSDから削除されるため、スクリプトは以下の警告メッセージを表示し、Secure Eraseのコマンドを実行する必要かの確認を求めます。

Are you sure you want to erase your drive? (yes/no):

続行するには、yesと入力します。中止するには、noを入力します。

スクリプトは一時停止や消去プロセスの確認作業を実行します。メッセージが表示された場合には、実行を継続するためにyesと入力してください。

実行中にエラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ」を参照の上対応してください。

お使いのコンピュータがシャットダウンされた後、コンピュータからUSBフラッシュドライブを取り外し、Windowsシステムがインストールされている内蔵ドライブからブートするように選択し、コンピュータを再起動してください。

- コンピュータが再起動された後、選択されたSSDのデータが削除されていることをご確認ください。本ユーザーガイドの「エラーメッセージ」の節に記載された対処方法を試しても引き続きエラーが表示される場合、またはデータが削除されていない場合はキオクシアお客様サポート(<https://personal.kioxia.com/support>)へお問い合わせください。

- (i)** 選択されたSSDがSATAドライブの場合、起動プロセス中にお使いのコンピュータがドライブをロックします。

スクリプトは、一時停止と再開コマンドを使ってドライブのロックを解除します。ただし、これらのコマンドにより、一部のコンピュータでメッセージ表示が機能しなくなる可能性があります。Secure Eraseは継続的に実行され、終了してもメッセージ表示されない代わりに、コマンドの実行が終了した後、コンピュータが自動的にシャットダウンされます。このプロセスは、5分以内で完了します。5分以上経ってもコンピュータがシャットダウンしない場合は手動でシャットダウンし、USBフラッシュドライブを取り外してキオクシアお客様サポート(<https://personal.kioxia.com/support>)に連絡してください。

SSD Utilityの起動

SSD Utilityへのショートカットは、アプリケーションとともにインストールされます。デスクトップに作成されたショートカット、もしくはスタートメニューにある**KIOXIA Corporation - SSD Utility**をクリックし、SSD Utilityを実行します。

SSD Utilityのアンインストール

Windowsからアンインストールするには、コントロールパネルにある標準のアンインストール機能を使用するか、インストーラを再度実行して**削除**を選択します。

USBフラッシュドライブからブート可能メディアを削除

- USBフラッシュドライブをコンピュータに差し込みます。
- USBフラッシュドライブのボリュームを削除し再フォーマットします。これによりUSBフラッシュドライブの全ドライブ機能にアクセスできます。

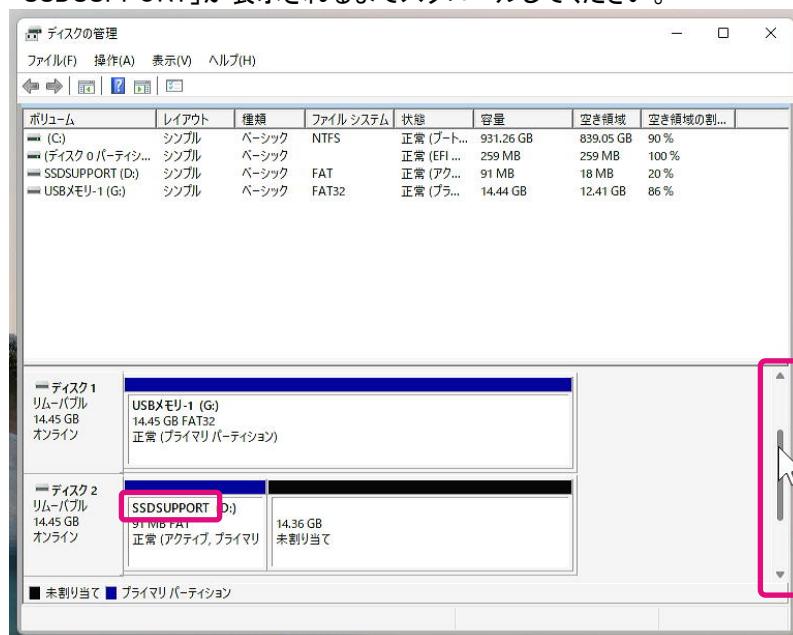
⚠ 注意: 以下の作業によりUSBフラッシュドライブ内のデータは全て削除されます。間違ったドライブを選択するとそのドライブのデータが全て削除されてしまいますので必ず削除対象のUSBフラッシュドライブを選択してください。

例としてWindows 11の場合の削除手順を以下に記載します：

- 2-1. タスクバーの「スタート」ボタンを右クリックし、表示されたメニューから「ディスクの管理」を選択してください。



- 2-2. 「ディスクの管理」ウィンドウが開かれます。スクロールバーを使ってボリュームラベル「SSDSUPPORT」が表示されるまでスクロールしてください。



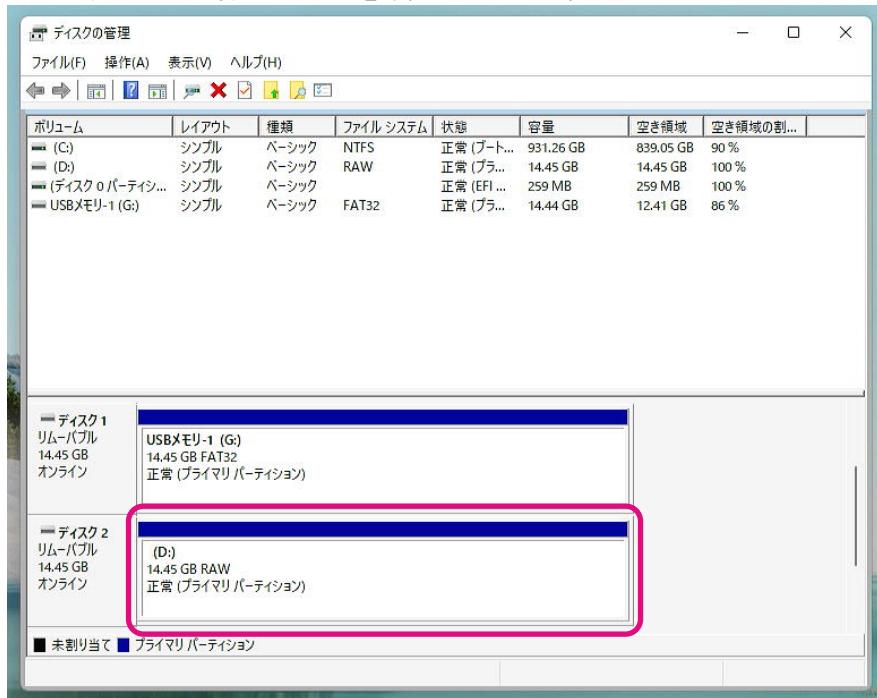
- 2-3. ボリュームラベル「SSDSUPPORT」を右クリックし、表示されたメニューから「ボリュームの削除(D)...」を選択してください。



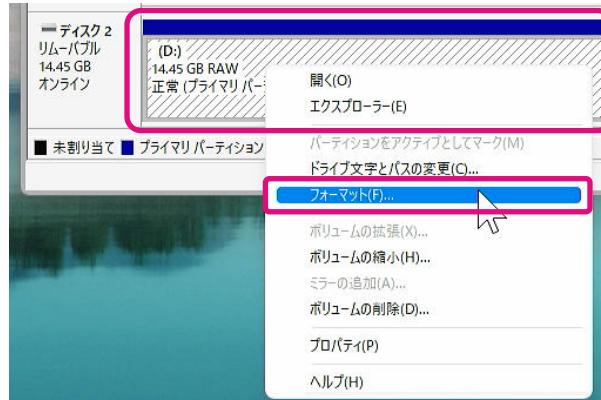
- 2-4. 以下のポップアップが表示されます。内容をご確認の上、「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。



- 2-5. パーティションが削除されたことを確認してください。



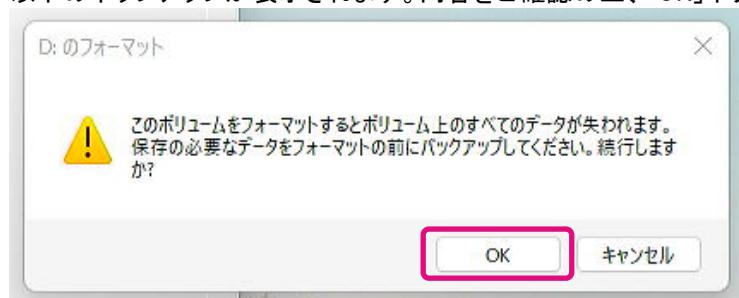
- 2-6. フォーマットするために対象のドライブを右クリックし、表示されたメニューから「フォーマット(F)...」を選択してください。



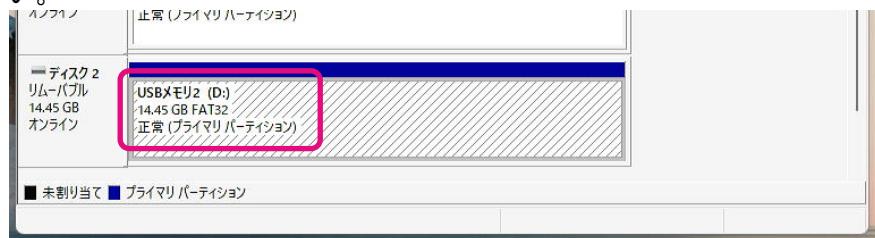
- 2-7. フォーマットのためのポップアップが表示されます。各項目を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 2-8. 以下のポップアップが表示されます。内容をご確認の上、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 2-9. ボリュームラベルやファイルシステムなどが「2-7」で指定した通りになっていることを確認してください。

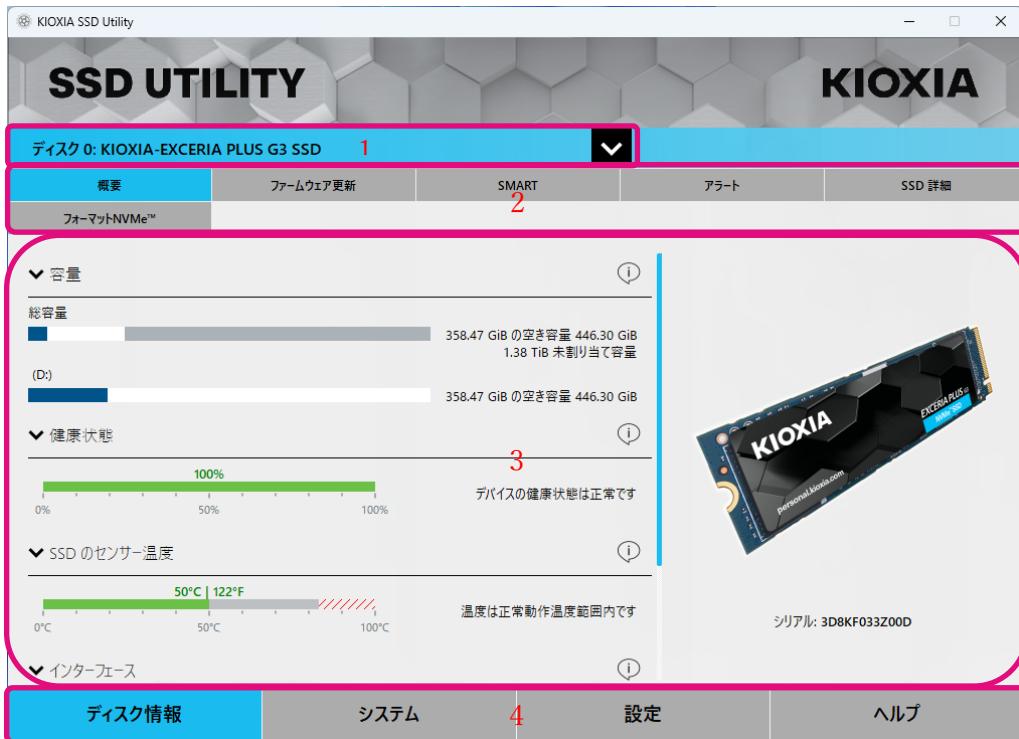


以上でUSBフラッシュドライブからブート可能メディアを削除する手順は終了です。

SSD Utilityの機能

UIの概要

SSD Utilityの画面は表示枠を項目別に分割しています。



- 1 **ドライブの選択リスト** – 現在のコンピュータに接続されているSSDのリスト。コンピュータにサポート対象SSDが1つのみ接続されている場合は、それが自動的に選択されます。複数のSSDが接続されている場合は、以下のタスクバーでタスクをクリックする前に、必要なSSDを選択してください。本SSD Utilityが機能提供可能なドライブのみ、選択リストに表示されます。
- 2 **タスクバー** – 実行できるタスクが表示されます。
- 3 **メイン表示枠** – 要求した情報、またはタスクのフィールドが表示されます。
- 4 **オプションバー** – 選択できるオプションが表示されます。選択したオプションに応じて、以上2および3の表示内容が変わります。

機能概要

SSD Utilityは、ユーザーインターフェース内の場所別に、以下の表に示された機能をサポートしています。選択したドライブ毎にサポートされる機能が異なります。サポートされるSSDが複数ある場合は、ドライブの選択リストで選択したドライブに応じてタスクバーが表示されます。

各機能内容の説明を閲覧するにはヘルプ  をクリックします。ヘルプには、オンラインの詳細情報にアクセスするリンクが含まれます。

必要な情報がヘルプやこのユーザーガイドで見つからない場合、キオクシアお客様サポートに連絡できます。詳細については弊社のウェブサイトやヘルプページに掲載している連絡先を閲覧してください。(以下参照)

オプション	タスク	機能
ディスク情報	概要	<p>ドライブのステータスに関する簡単な概要。以下が含まれます。</p> <p>容量 - ドライブの現在の使用状況</p> <p>健康状態 - ドライブの残り寿命</p> <p>■ = SSD は、最適に動作しています (100% ~ 21%)</p> <p>■ = 今後のデータ喪失を避けるため、ご利用の SSD の交換を検討してください (20% ~ 11%)</p> <p>■ = ご利用の SSD を直ちに交換してください (10% ~ 0%)</p> <p>保証期間内であっても、「健康状態」の値がゼロ(0)まで低下する場合があります。この場合、SSDは保証対象外となります。</p> <p>SSD のセンサー温度 - SSD のセンサーで測定された温度 (SSD のケース温度よりも高い場合も低い場合もあります)</p> <p>インターフェース - 物理的なインターフェース接続のステータス</p> <p>Host Memory Buffer - Host Memory Bufferの状態</p>
	ファームウェア更新	選択したドライブについて、SSD ファームウェアの高度な更新方法を提供します。
	SMART	現在の SMART 属性値を示します。この機能は、SSD に問題があるかどうかを判断する場合に役立ちます。
	アラート	注意が必要な可能性のあるすべてのアラート状態、および過去に発生したアラート状態の詳細レポートが表示されます。
	SSD 詳細	SSD に関する詳細を示します。この機能は、キオクシアお客様サポートへの問い合わせ時に使用する場合があります。
	セキュリティ	<p>ポータブルSSDのみに有効なパスワードによるSSDの保護機能です。</p> <p>パスワードの設定 - ポータブルSSDにパスワードを設定しパスワード保護機能を有効にできます。</p> <p>デバイスのロック解除 - パスワードによるポータブルSSDのロック解除。</p> <p>パスワード削除 - パスワードで保護されたポータブルSSDのパスワードを消去。</p> <p>パスワードの変更 - (EXCERIA ポータブルSSD XS700、および EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDのみ) ロックが解除されたポータブルSSDのパスワードを変更できます。</p> <p>パスワード保護の詳細については「パスワード保護機能について」を参照してください。</p>
	Secure Erase / フォーマット NVMe	<p>Secure Erase - データ復旧できないようにSSDのすべてのデータを削除します (NVMe SSD ドライブ以外が対象)。</p> <p>フォーマットNVMe - NVMe SSDからすべてのデータを削除します。</p> <p>備考: SSDのSecure Erase / フォーマットNVMeに関しては、USBフラッシュドライブにブート可能メディアの作成が必要になる場合があります。詳細は“ブート可能メディアの作成”を参照してください。</p> <p>Revert Device - (EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDのみ) パスワードを削除し、データ復旧できないようにSSDのすべてのデータを削除します。</p> <p>Revert Deviceを実行する際はPSIDが必要になります。PSIDについては「PSIDについて」の節を参照してください。</p> <p>Revert Device完了後にはSSD内のデータはすべて削除されるため「ディスクの初期化」が必要な状態になります。Windowsの「ディスクの管理」などで対象のSSDに対して「ディスクの初期化」を実行してからご使用ください。</p>

システム	-	コンピュータに関する詳細を示します。この機能は、キオクシアお客様サポートへの問い合わせ時に使用する場合があります。
設定	-	<p>一般的なアプリケーション構成。以下を含みます。</p> <p>言語 - ユーザーインターフェースの言語。</p> <p>ロギング - キオクシアお客様サポートによる問題の診断を支援するために詳細なロギングを有効にします。</p> <p>モニタリング - SSD をモニタリングするために SSD Utility が実行を続けるかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> - バックグラウンドで実行 - バックグラウンドでの実行を許可します。 - ログイン時に実行 - ログイン時にツールを自動実行させます。
ヘルプ	-	<p>お問合せ先 - オンラインサポート情報へのリンク</p> <p>SSD Utilityについて - SSD Utility の概要情報。新しいバージョンの SSD Utility が利用可能な場合、ここに通知されます。</p> <p>サポートパッケージの保存 - 使用されているシステムの情報がzipファイルに保存されます。このファイルをキオクシアお客様サポートの際にご提供いただく場合があります。</p>

パスワード保護機能について

EXCERIA ポータブルSSD XS700

EXCERIA ポータブルSSD XS700はパスワードによりデバイスをロックすることでデバイス内のユーザーデータ領域へ他者がアクセスすることを禁止することができます。後述のそれぞれの手順に従ってパスワード保護機能をご利用ください。

パスワード保護機能には以下のパスワードが必要です。

- ・ **パスワード:**

ロックされたデバイスのロック解除やパスワード保護機能を無効にするためのパスワードです。後述の「パスワードの設定」でパスワード保護機能を有効にする際に、お客様ご自身で決めて入力していただく英数字4~32文字のパスワードです。「デバイスのロック解除」をする際にパスワードを入力することでロックが解除されデバイス内のユーザーデータ領域へのアクセスが可能になります。また、「パスワード削除」をする際にパスワードを入力することでパスワードを削除しパスワード保護機能を無効にすることができます。

パスワードを忘れてしまうとロック解除やパスワード保護機能を無効にすることができないことがあります。

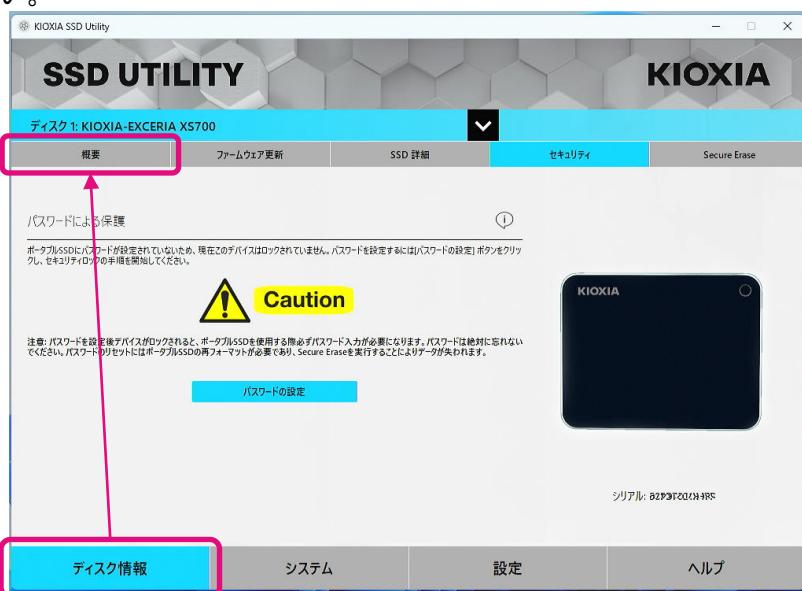
⚠ 注意:

- ・ **パスワードはお客様自身で大切に保管してください。**
- ・ **パスワードを紛失すると、デバイスはロックされユーザーデータ領域へのアクセスができなくなります。**

次ページからの「パスワードの設定」手順、「デバイスのロック解除」手順、「パスワード削除」手順、「パスワードの変更」手順は、お使いのコンピュータにEXCERIA ポータブルSSD XS700が接続された状態でSSD Utilityを実行しご利用ください。

「パスワードの設定」手順:

- オプションバーの「ディスク情報」ボタンをクリックし、タスクバーの「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。

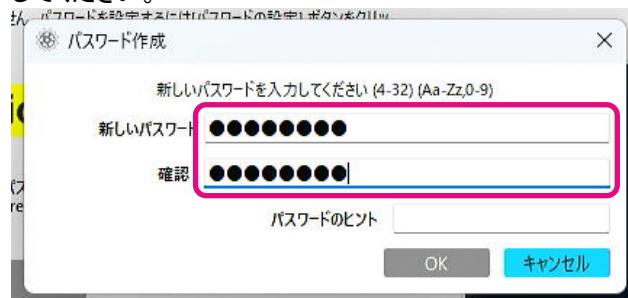


- メイン表示枠に表示される「パスワードによる保護」をお読みいただき、「パスワードの設定」ボタンをクリックしてください。

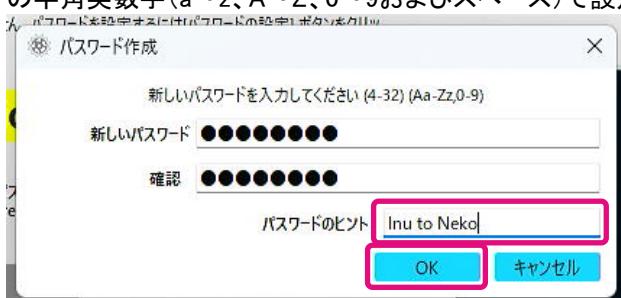


3. 表示されたポップアップにパスワードを入力してください。パスワードは4~32文字の任意の半角英数字(a~z、A~Z、0~9。スペースは使用できません)で設定するようご注意ください。

⚠ 注意: パスワードを紛失すると、デバイスはロックされユーザーデータ領域へのアクセスができなくなります。パスワードは「デバイスのロック解除」や「パスワード削除」をする際に必要になりますので必ず保管してください。



4. パスワードのヒントを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。パスワードのヒントは4~32文字の任意の半角英数字(a~z、A~Z、0~9およびスペース)で設定するようご注意ください。



5. パスワード保護の構成が始まります。終了するまでお待ちください。

⚠ 注意: 終了するまでデバイスを取り外さないでください。

6. パスワードの設定が完了し、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



7. パスワード保護機能が有効になり、以下が表示されます。



以上が表示されている場合は、デバイスのロックは解除されていますのでデバイス内のユーザーデータ領域にアクセスすることができます。

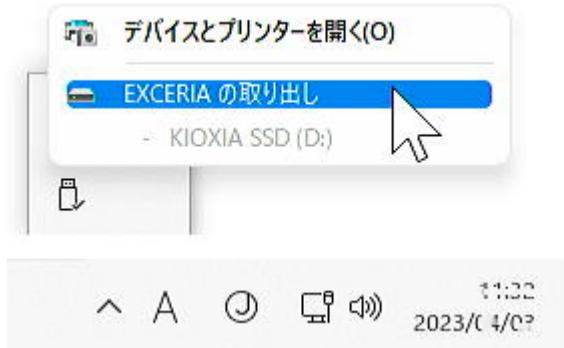
デバイスをロックしたい場合は、対象のデバイスをUSBポートから安全に取り外した後、再度接続しなおしてください。が表示されていればデバイスはロックされデバイス内のユーザーデータ領域にアクセスできません。

以上で「パスワードの設定」手順は終了です。

パスワード保護機能によりロックされていることの確認手順

EXCERIA ポータブルSSD XS700がSSD Utilityにより確実にパスワード保護されていることを確認するためには以下の手順を実施してください。

- 1, EXCERIA ポータブルSSD XS700をコンピュータから安全に取り外してください。

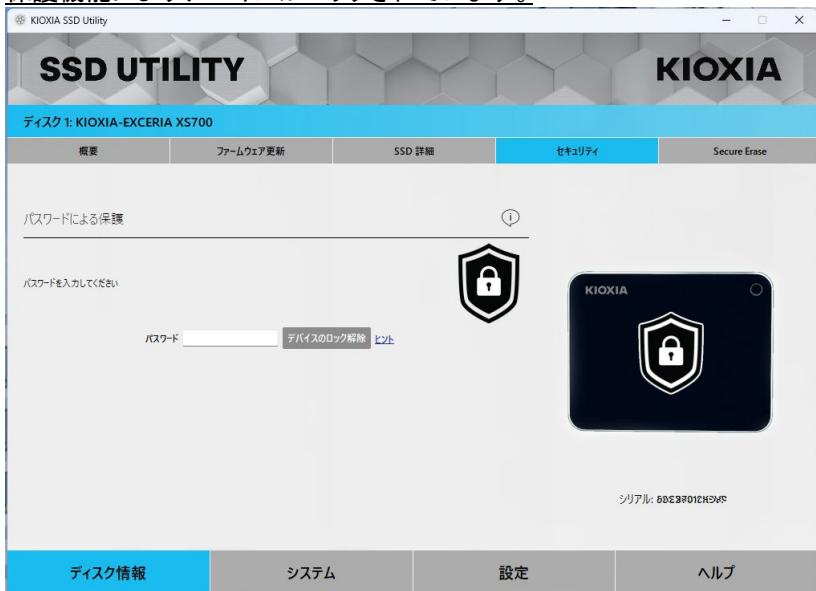


- 2, コンピュータ上でSSD Utilityを実行してください。



- 3, EXCERIA ポータブルSSD XS700をコンピュータへ接続してください。

4. SSD UtilityがEXCERIA ポータブルSSD XS700を認識し、黒い盾のアイコンが表示されればパスワード保護機能によりデバイスがロックされています。

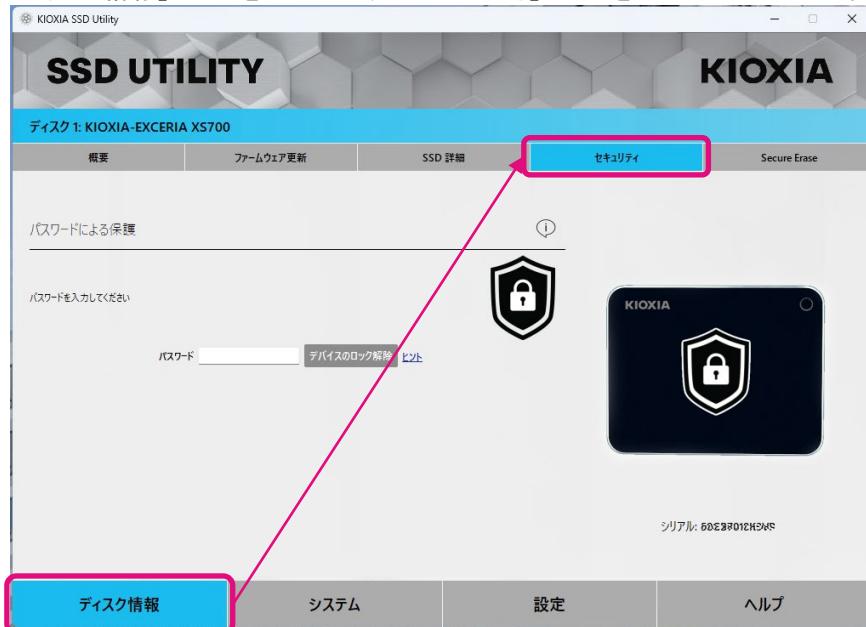


黒い盾のアイコンが表示されない場合は、該当する「KIOXIA-EXCERIA XS700」を選択し「セキュリティ」タブを選択してください。「デバイスのロック解除」をしていないにもかかわらず下図のように「パスワードの変更」と「パスワード削除」ボタンが表示される場合は正しくパスワード保護機能が設定されていないことが考えられます。この場合「パスワード削除」ボタンをクリックしてパスワードを削除された後、再度「パスワードの設定」をお試しください。



「デバイスのロック解除」手順:

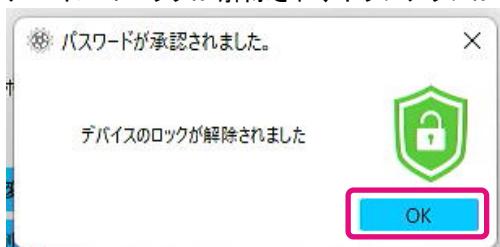
1. 「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



2. デバイスがロックされている場合はパスワードを入力する画面が表示されます。パスワード入力欄にご自身で決められたパスワードを入力し、「デバイスのロック解除」ボタンをクリックしてください。



3. デバイスのロックが解除され、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

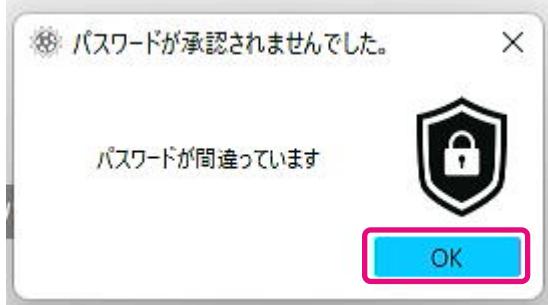


4. デバイスのロックが解除され以下が表示されます。



以上で「デバイスのロック解除」手順は終了です。

「デバイスのロック解除」の際に間違ったパスワードを入力した場合、以下のようなポップアップが表示されます。「OK」をクリックしポップアップを閉じ正しいパスワードを入力して再度「デバイスのロック解除」を実行してください。



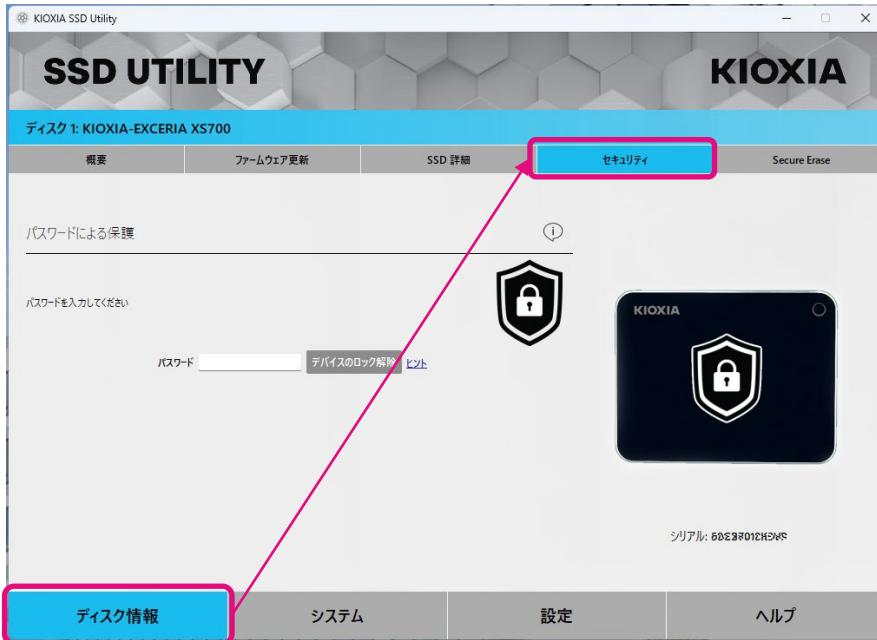
5回連続で間違ったパスワードを入力した場合、SSD Utility上に以下が表示されます。その場合、USBポートから対象デバイスを取り外し、再接続した後、再度「デバイスのロック解除」を実行してください。



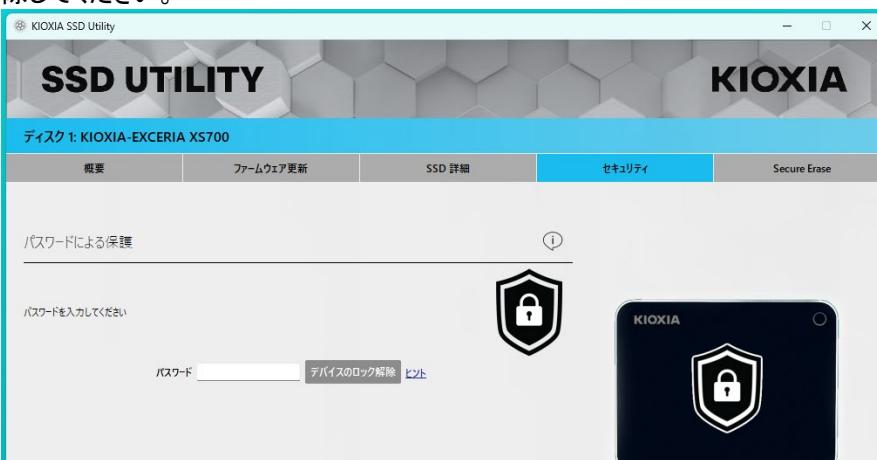
正しいパスワードがわからない場合は「デバイスのロック解除」やパスワード保護機能を無効にすることはできません。

「パスワード削除」手順:

- 1, 「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



- 2, デバイスがロックされている場合以下が表示されます。「デバイスのロック解除」手順に従ってロックを解除してください。

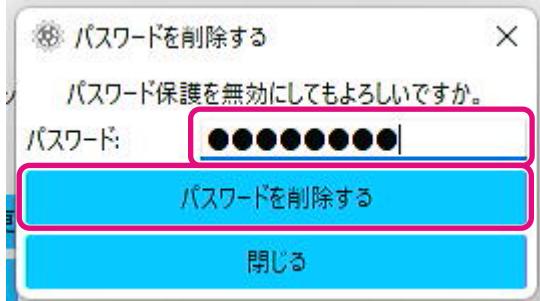


すでにロックが解除されている場合は次の手順に進んでください。

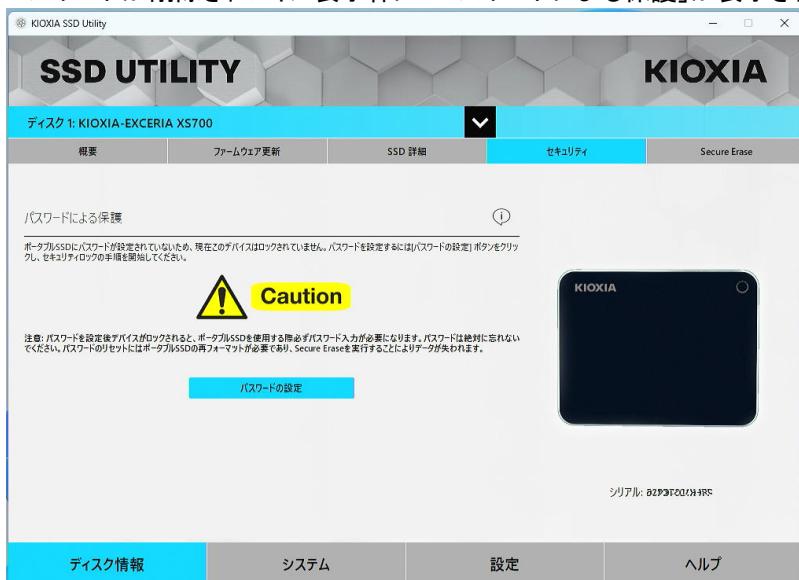
- 3, 「パスワード削除」ボタンをクリックしてください。



4. パスワードを入力するためのポップアップが表示されます。パスワードを入力し、「パスワードを削除する」ボタンをクリックしてください。

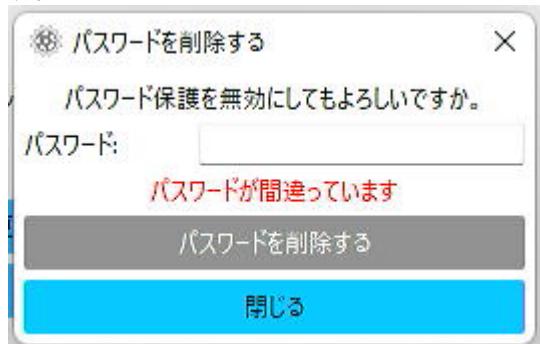


5. パスワードが削除されメイン表示枠に「パスワードによる保護」が表示されます。



以上で「パスワード削除」手順は終了です。

「パスワード削除」の際に間違ったパスワードを入力した場合、以下のようなポップアップが表示されます。



正しいパスワードを入力して再度「パスワードを削除する」ボタンをクリックしてください。

正しいパスワードがわからない場合は「パスワード削除」はできません。

「パスワードの変更」手順:

1. 「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



2. 対象のデバイスがロックされている場合、以下が表示されます。「デバイスのロック解除」手順に従ってデバイスのロックを解除してください。



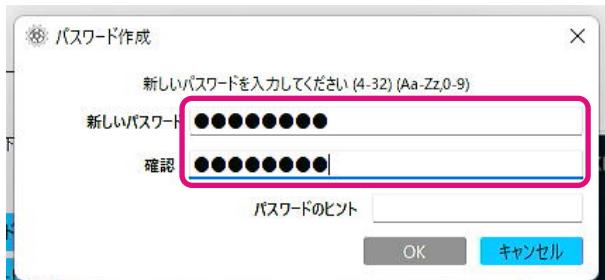
デバイスのロックが解除されている場合は次の手順にお進みください。

3、「パスワードの変更」ボタンをクリックしてください。

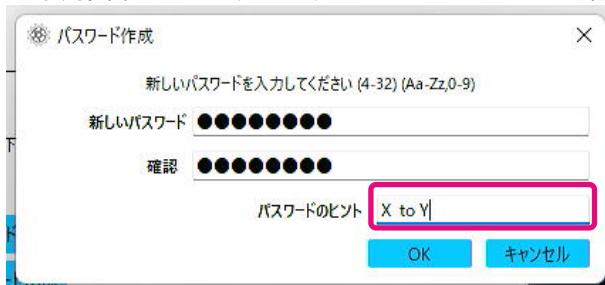


4、表示されたポップアップにパスワードを入力してください。パスワードは4~32文字の任意の半角英数字(a~z、A~Z、0~9。スペースは使用できません)で設定するようご注意ください。

⚠ 注意: パスワードを紛失すると、デバイスはロックされユーザーデータ領域へのアクセスができなくなります。パスワードは「デバイスのロック解除」や「パスワード削除」をする際に必要になりますので必ず保管してください。



5、パスワードのヒントを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。パスワードのヒントは4~32文字の任意の半角英数字(a~z、A~Z、0~9およびスペース)で設定するようご注意ください。



6、パスワード保護の構成が始まります。終了するまでお待ちください。

⚠ 注意: 終了するまでデバイスを取り外さないでください。

7. 新しいパスワードの設定が完了し、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



8. パスワードが変更され、以下が表示されます。



デバイスをロックしたい場合は、対象のデバイスをUSBポートから安全に取り外した後、再度接続しなおしてください。が表示されていればデバイスはロックされデバイス内のユーザーデータ領域にアクセスできません。

以上で「パスワードの変更」手順は終了です。

EXCERIA PLUS ポータブルSSD

EXCERIA PLUS ポータブルSSDはパスワードによりデバイスをロックすることでデバイス内のユーザーデータ領域へ他人がアクセスすることを禁止することができます。後述のそれぞれの手順に従ってパスワード保護機能をご利用ください。

パスワード保護機能には以下の2つのパスワードが必要です。

- ・マスターパスワード:

パスワード保護機能を無効にするためのパスワードです。後述の「パスワードの設定」でパスワード保護機能を有効にする際にSSD Utilityが自動生成して表示する英数字32文字のパスワードです。マスターパスワードを忘れてしまうとマスターパスワードおよびユーザーパスワードを削除してパスワード保護機能を無効にすることができないなります。

- ・ユーザーパスワード:

パスワード保護機能によってロックされたデバイスのロックを解除するためのパスワードです。後述の「パスワードの設定」でパスワード保護機能を有効にする際に、お客様ご自身で決めて入力していただく英数字8~32文字のパスワードです。「デバイスのロック解除」をする際にユーザーパスワードを入力することでロックが解除されデバイス内のユーザーデータ領域へのアクセスが可能になります。

ユーザーパスワードを忘れてしまうとロックが解除できなくなりユーザーデータ領域へのアクセスができなくなります。その場合は、後述の「パスワードの削除」の手順に従ってマスターパスワードを使って両方のパスワードを削除しパスワード保護機能を無効にしてください。

⚠ 注意:

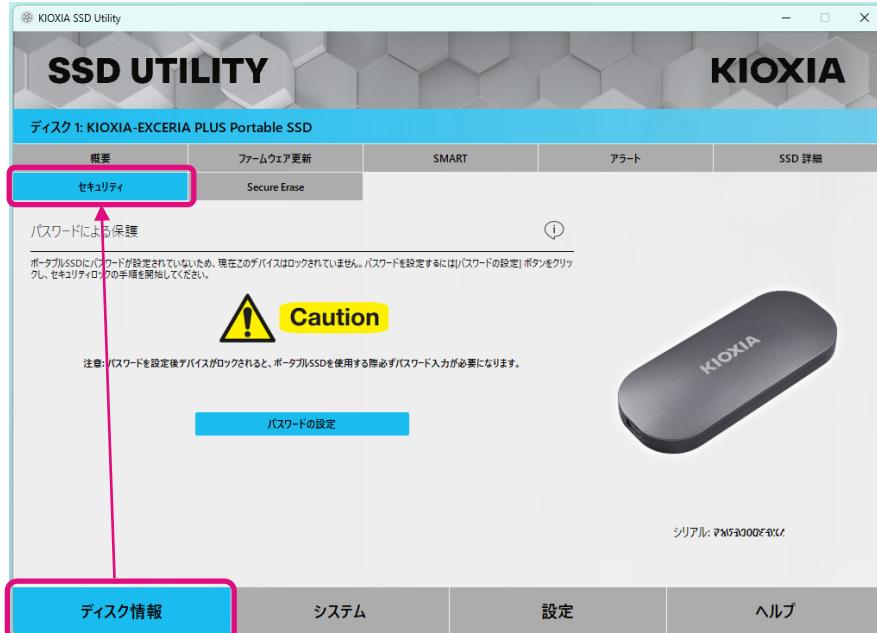
- ・マスターパスワードおよびユーザーパスワードはお客様自身で大切に保管してください。
- ・マスターパスワードは「パスワードの設定」をする度に、新しいパスワードが表示されますので必ず保管してください。
- ・ユーザーパスワードとマスターパスワードの両方を紛失すると、デバイスは永久的にロックされユーザーデータ領域へのアクセスができなくなります。

ユーザーパスワードおよびマスターパスワードを変更する機能はありません。パスワードを変更したい場合は、「パスワード削除」を実行した後、再度「パスワードの設定」を実行してください。

次ページからの「パスワードの設定」手順、「デバイスのロック解除」手順、「パスワード削除」手順は、お使いのコンピュータにEXCERIA PLUS ポータブルSSDが接続された状態でSSD Utilityを実行をご利用ください。

「パスワードの設定」手順:

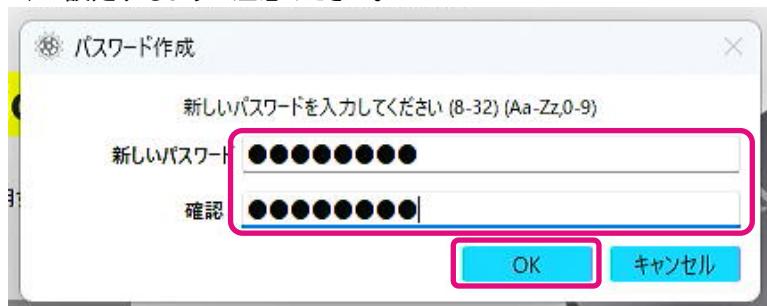
- 1、「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



- 2、「パスワードの設定」ボタンをクリックしてください。



- 3、表示されたポップアップにパスワード(ユーザー・パスワード)を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
ユーザー・パスワードは 8~32 文字の任意の半角英数字(a~z, A~Z, 0~9。スペースは使用できません)で設定するようご注意ください。



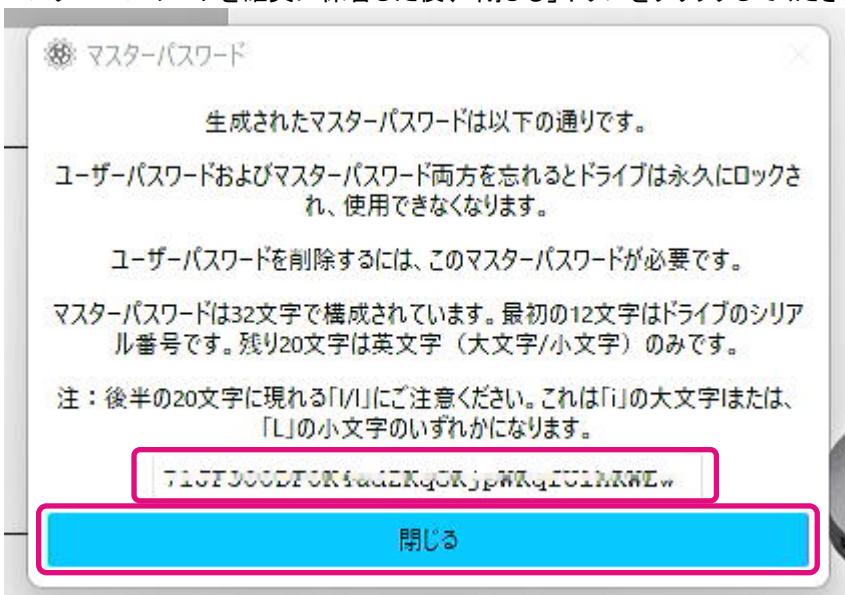
4. パスワード保護の構成が始まります。終了するまでお待ちください。

⚠ 注意: 終了するまでデバイスを取り外さないでください。
パスワード保護の構成が正常に終了すれば以下のポップアップは自動的に閉じられます。



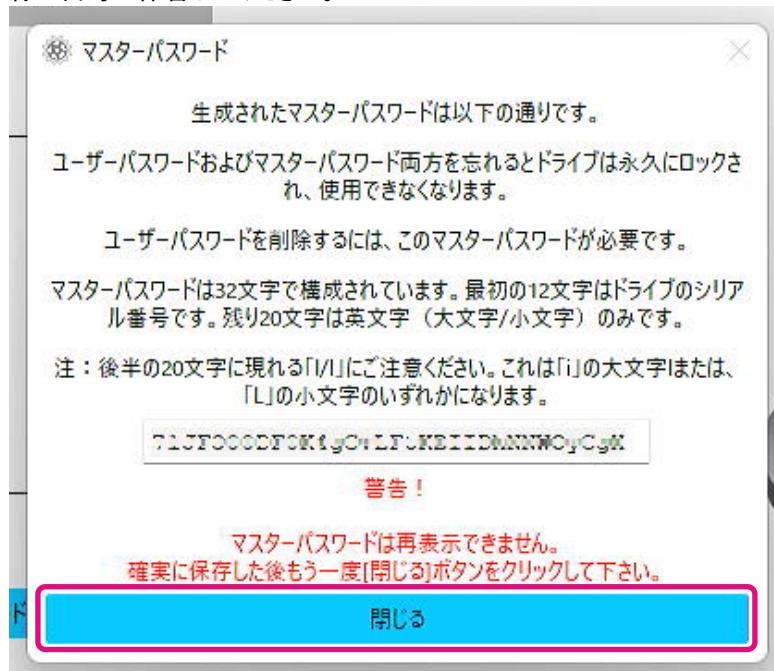
5. マスター・パスワードが表示されます。

⚠ 注意: マスター・パスワードは「パスワード削除」する際に必要になりますので必ず保管してください。
マスター・パスワードを確実に保管した後、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



6. 警告が表示されます。マスター・パスワードを保管したことを再度確認の上「閉じる」ボタンをクリックしてください。

⚠ 注意: このポップアップを閉じた後はマスター・パスワードの再表示はできませんので必ずお客様ご自身で保管してください。



7. パスワードの設定が完了し、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



8. パスワード保護機能が有効になり、以下が表示されます。

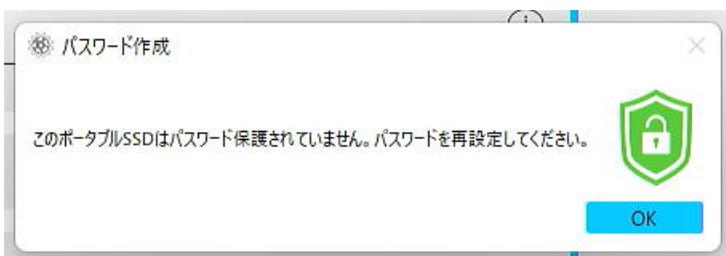


以上の通り  が表示されている場合は、デバイスのロックは解除されていますのでデバイス内のユーザーデータ領域にアクセスすることが可能です。デバイスをロックしたい場合は、対象のデバイスをUSBポートから安全に取り外した後、再度接続しなおしてください。 が表示されていればデバイスはロックされデバイス内のユーザーデータ領域にアクセスできません。

以上で「パスワードの設定」手順は終了です。

「パスワードの設定」に失敗した場合

接続や動作が不安定なUSBポートを使用された場合など「パスワードの設定」の途中で失敗する場合があります。途中で失敗した場合、以下のようなポップアップが表示されることがあります。



このポップアップが表示された場合、「OK」ボタンをクリックしポップアップを閉じた後デバイスが接続されているUSBポートを変更するなどし、「パスワード削除」を実行した後、再度「パスワードの設定」を実行してください。

パスワード保護機能によりロックされていることの確認手順

EXCERIA PLUS ポータブルSSDがSSD Utilityにより確実にパスワード保護されていることを確認するためには以下の手順を実施してください。

- 1, EXCERIA PLUS ポータブルSSDをコンピュータから安全に取り外してください。



- 2, コンピュータ上でSSD Utilityを実行してください。



- 3, EXCERIA PLUS ポータブルSSDをコンピュータへ接続してください。

4. SSD UtilityがEXCERIA PLUS ポータブルSSDを認識し、黒い盾のアイコンが表示されればパスワード保護機能によりデバイスがロックされています。



黒い盾のアイコンが表示されない場合は、該当する「KIOXIA-EXCERIA PLUS Portable SSD」を選択し「セキュリティ」タブを選択してください。「デバイスのロック解除」をしていないにもかかわらず下図のように「パスワード削除」ボタンが表示される場合は正しくパスワード保護機能が設定されていないことが考えられます。この場合「パスワード削除」ボタンをクリックしてパスワードを削除された後、再度「パスワードの設定」を実行してください。



「デバイスのロック解除」手順:

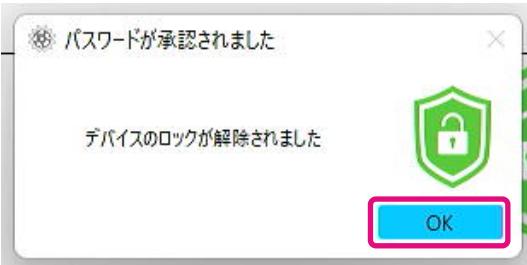
1、「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



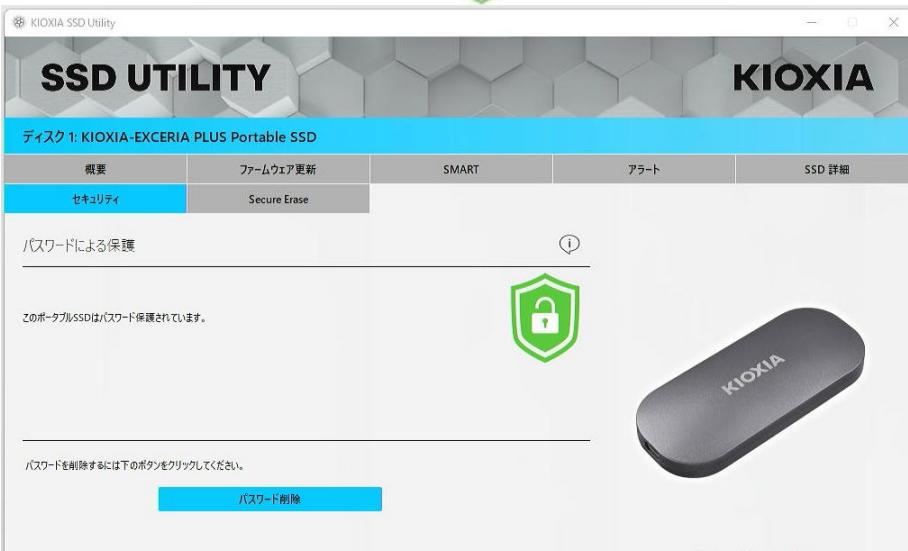
2、デバイスがロックされている場合はパスワードを入力する画面が表示されます。パスワード入力欄にご自身で決められたパスワード(ユーザー・パスワード)を入力し、「デバイスのロック解除」ボタンをクリックしてください。



3、デバイスのロックが解除され、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



4. デバイスのロックが解除され以下のように  が表示されます。

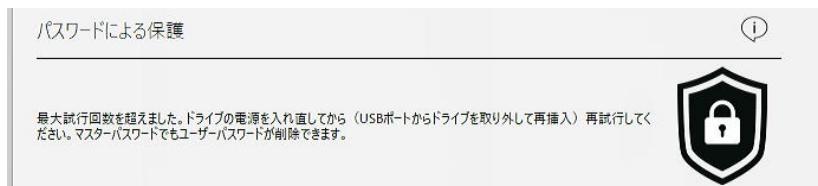


以上で「デバイスのロック解除」手順は終了です。

「デバイスのロック解除」の際に間違ったユーザーパスワードを入力した場合、以下のようなポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしポップアップを閉じ正しいユーザーパスワードを入力して再度「デバイスのロック解除」を実行してください。



5回連続で間違ったユーザーパスワードを入力した場合、SSD Utility上に以下が表示されます。その場合、USBポートから対象デバイスを安全に取り外し、再接続した後、試行回数をリセットしてください。その後、再度「デバイスのロック解除」を実行してください。



正しいユーザーパスワードがわからない場合は「デバイスのロック解除」はできません。パスワード保護機能を無効にするため、「パスワード削除」を実行してください。

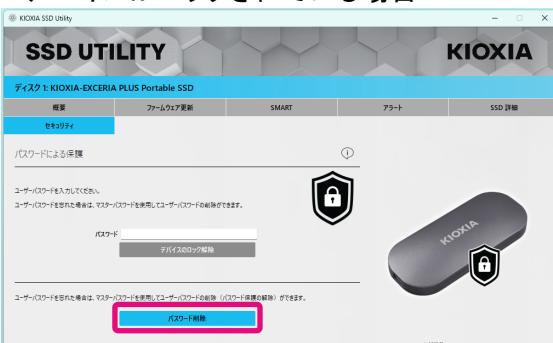
「パスワード削除」手順:

1、「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。

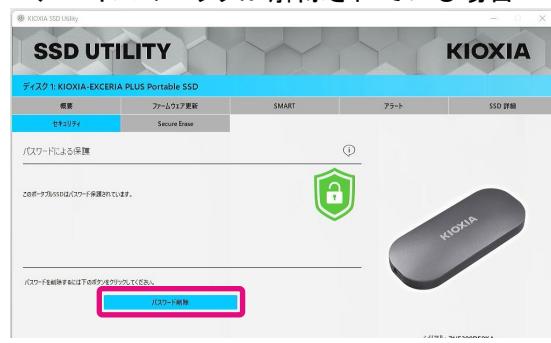


2. デバイスのロック状態により以下のいずれかが表示されます。いずれの場合も「パスワード削除」ボタンをクリックしてください。

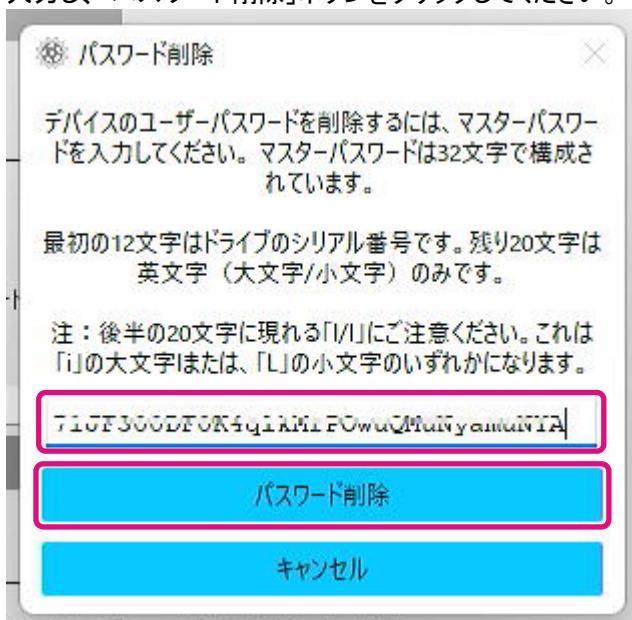
デバイスがロックされている場合



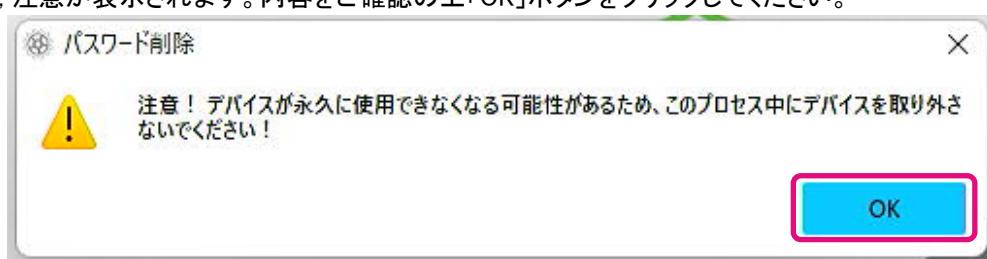
デバイスのロックが解除されている場合



3. マスター・パスワードを入力するためのポップアップが表示されます。保管していたマスター・パスワードを入力し、「パスワード削除」ボタンをクリックしてください。



4. 注意が表示されます。内容をご確認の上「OK」ボタンをクリックしてください。



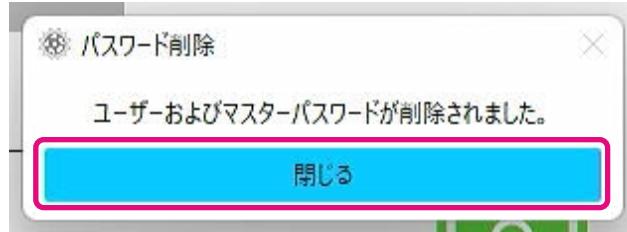
5. パスワード削除が実行されます。終了するまでお待ちください。

⚠ 注意: 終了するまでデバイスを取り外さないでください。

パスワード削除が正常に終了すれば以下のポップアップは自動的に閉じられます。



6. パスワードが削除され、ポップアップが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてください。

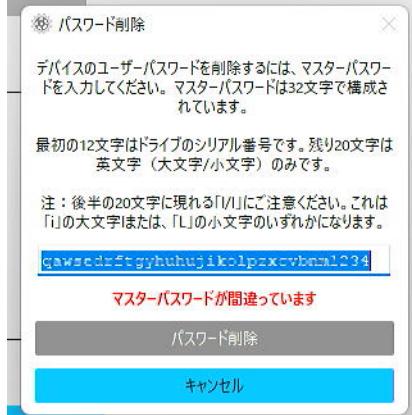


7. パスワードが削除され以下が表示されます。

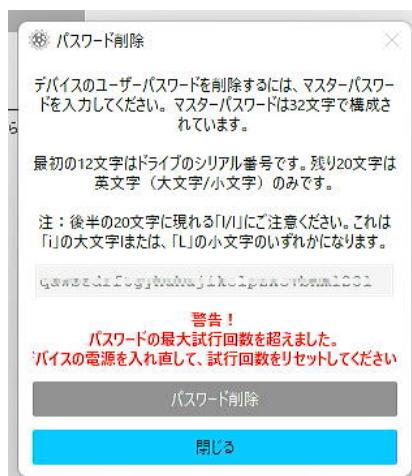


以上で「パスワード削除」手順は終了です。

「パスワード削除」の際に間違ったマスターpasswordを入力した場合、以下のようなポップアップが表示されます。正しいマスターpasswordを入力して再度「パスワード削除」ボタンをクリックしてください。



3回連続で間違ったマスターpasswordを入力した場合、ポップアップ上に以下の警告が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしポップアップを閉じてください。USBポートから対象デバイスを取り外し再接続していただくことで試行回数をリセットできますが、デバイスはロックされてしまいます。ユーザーpasswordがわからない場合ロックが解除できずデバイス内のデータへアクセスできなくなりますのでデバイスを挿抜される前に、データを別のデバイスにコピーしておくことをおすすめします。デバイスを再接続した後、再度「パスワード削除」を実行してください。



正しいマスターpasswordがわからない場合は「パスワード削除」はできません。

EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSD

EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDはパスワードによりデバイスをロックすることでデバイス内のユーザーデータ領域へ他者がアクセスすることを禁止することができます。後述のそれぞれの手順に従ってパスワード保護機能をご利用ください。

パスワード保護機能には以下のパスワードが必要です。

- ・ **パスワード:**

ロックされたデバイスのロック解除やパスワード保護機能を無効にするためのパスワードです。後述の「パスワードの設定」でパスワード保護機能を有効にする際に、お客様ご自身で決めて入力していただく英数字8~32文字のパスワードです。「デバイスのロック解除」をする際にパスワードを入力することでロックが解除されデバイス内のユーザーデータ領域へのアクセスが可能になります。また、「パスワード削除」をする際にパスワードを入力することでパスワードを削除しパスワード保護機能を無効にすることができます。

パスワードを忘れてしまうとロックを解除することができなくなります。その場合、Revert Deviceを実行することでパスワード保護機能を含むSSD内の情報をリセットすることができます。これによりパスワード保護機能を無効にすることができますが、SSD内のデータはすべて削除されるため「ディスクの初期化」が必要な状態になります。Windowsの「ディスクの管理」などで対象のSSDに対して「ディスクの初期化」を実行してからご使用ください。

⚠ 注意:

- ・ パスワードはお客様自身で大切に保管してください。
- ・ パスワードを紛失すると、デバイスはロックされユーザーデータ領域へのアクセスができなくなります。

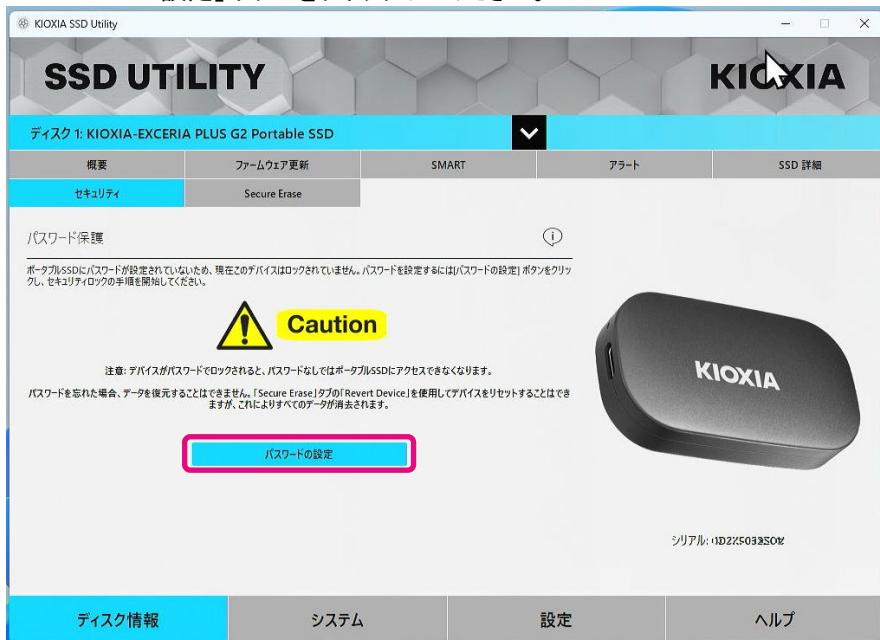
次ページからの「パスワードの設定」手順、「デバイスのロック解除」手順、「パスワード削除」手順、「パスワードの変更」手順は、お使いのコンピュータにEXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDが接続された状態でSSD Utilityを実行しご利用ください。

「パスワードの設定」手順:

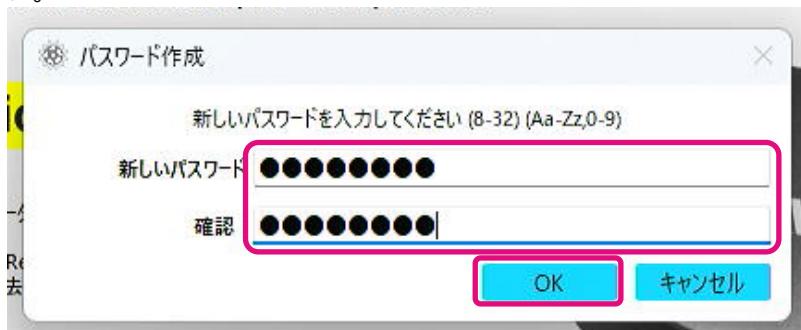
- 1、「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



- 2、「パスワードの設定」ボタンをクリックしてください。

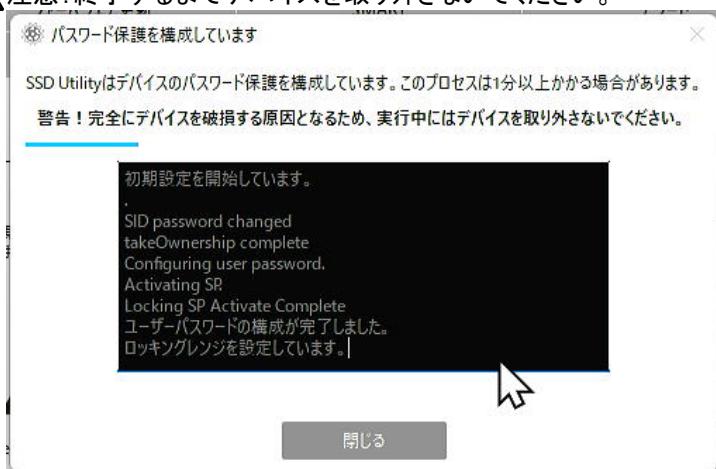


3. 表示されたポップアップにパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。パスワードは 8~32 文字の任意の半角英数字(a~z, A~Z, 0~9。スペースは使用できません)で設定するようご注意ください。



4. パスワード保護の構成が始まります。終了するまでお待ちください。

⚠️ 注意: 終了するまでデバイスを取り外さないでください。



5. パスワードの設定が完了し、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



6. パスワード保護機能が有効になり、以下が表示されます。



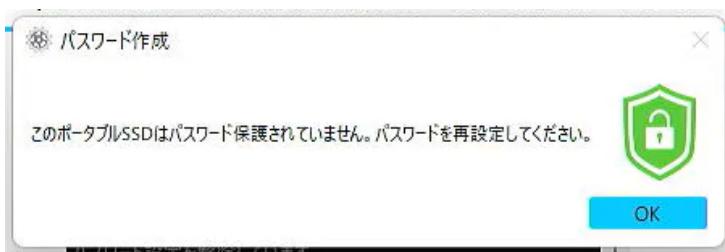
以上の通り^①が表示されている場合は、デバイスのロックは解除されていますのでデバイス内のユーザーデータ領域にアクセスすることが可能です。

デバイスをロックしたい場合は、対象のデバイスをUSBポートから安全に取り外した後、再度接続しなおしてください。^②が表示されればデバイスはロックされデバイス内のユーザーデータ領域にアクセスできません。

以上で「パスワードの設定」手順は終了です。

「パスワードの設定」に失敗した場合

接続や動作が不安定なUSBポートを使用された場合など「パスワードの設定」の途中で失敗する場合があります。途中で失敗した場合、以下のようなポップアップが表示されることがあります。

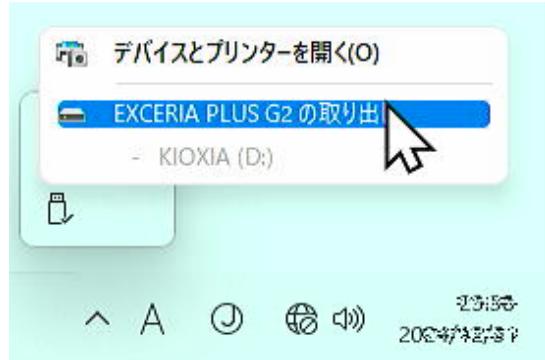


このポップアップが表示された場合、「OK」ボタンをクリックしポップアップを閉じた後デバイスが接続されているUSBポートを変更するなどし、再度「パスワードの設定」を実行してください。

パスワード保護機能によりロックされていることの確認手順

EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDがSSD Utilityにより確実にパスワード保護されていることを確認するためには以下の手順を実施してください。

- 1, EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDをコンピュータから安全に取り外してください。



- 2, コンピュータ上でSSD Utilityを実行してください。



- 3, EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDをコンピュータへ接続してください。

4. SSD UtilityがEXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDを認識し、黒い盾のアイコンが表示されればパスワード保護機能によりデバイスがロックされています。



黒い盾のアイコンが表示されない場合は、該当する「KIOXIA-EXCERIA PLUS G2 Portable SSD」を選択し「セキュリティ」タブを選択してください。「デバイスのロック解除」をしていないにもかかわらず下図のように「パスワード削除」ボタンが表示される場合は正しくパスワード保護機能が設定されていないことが考えられます。この場合「パスワード削除」ボタンをクリックしてパスワードを削除された後、再度「パスワードの設定」を実行してください。



「デバイスのロック解除」手順:

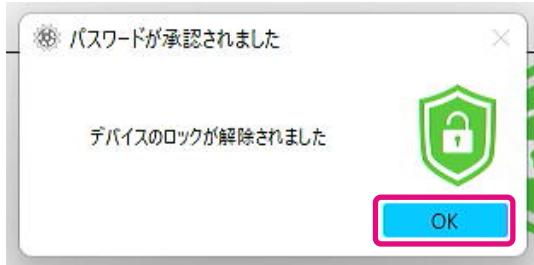
1. 「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



2. デバイスがロックされている場合はパスワードを入力する画面が表示されます。パスワード入力欄にご自身で決められたパスワードを入力し、「デバイスのロック解除」ボタンをクリックしてください。



3, デバイスのロックが解除され、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

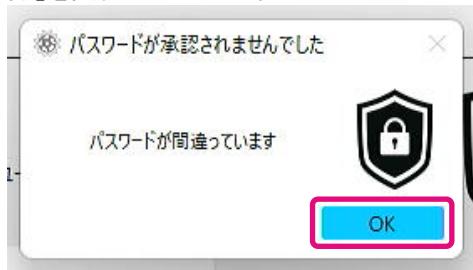


4, デバイスのロックが解除され以下のように が表示されます。



以上で「デバイスのロック解除」手順は終了です。

「デバイスのロック解除」の際に間違ったパスワードを入力した場合、以下のようなポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしポップアップを閉じ正しいパスワードを入力して再度「デバイスのロック解除」を実行してください。



5回連続で間違ったパスワードを入力した場合、SSD Utility上に以下が表示されます。その場合、USBポートから対象デバイスを安全に取り外し、再接続した後、試行回数をリセットしてください。その後、再度「デバイスのロック解除」を実行してください。



正しいパスワードがわからない場合は「デバイスのロック解除」はできません。その場合Revert Deviceを実行することでパスワード保護機能を含むSSD内の情報をリセットすることができます。これによりパスワード保護機能を無効にすることができますが、SSD内のデータはすべて削除されるため「ディスクの初期化」が必要な状態になります。Windowsの「ディスクの管理」などで対象のSSDに対して「ディスクの初期化」を実行してからご使用ください。

「パスワード削除」手順:

1. 「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



2. デバイスがロックされている場合以下が表示されます。「デバイスのロック解除」手順に従ってロックを解除してください。

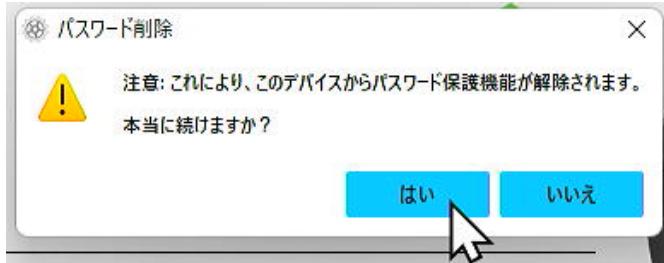


すでにロックが解除されている場合は次の手順に進んでください。

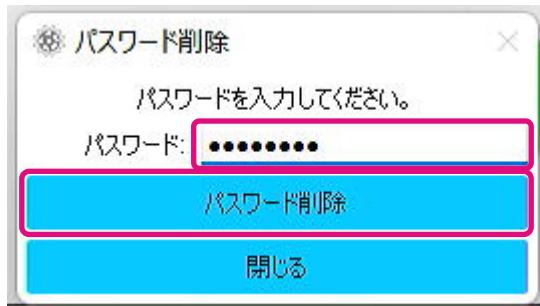
3. 「パスワード削除」ボタンをクリックしてください。



4. 注意が表示されます。続ける場合は「はい」ボタンをクリックしてください。



5. パスワードを入力するためのポップアップが表示されます。パスワードを入力し、「パスワード削除」ボタンをクリックしてください。



6. 注意が表示されます。内容をご確認の上「OK」ボタンをクリックしてください。



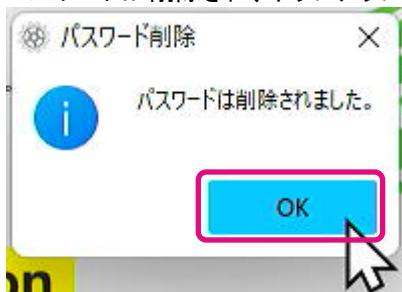
7. パスワード削除が実行されます。終了するまでお待ちください。

⚠ 注意: 終了するまでデバイスを取り外さないでください。

パスワード削除が正常に終了すれば以下のポップアップは自動的に閉じられます。



8. パスワードが削除され、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

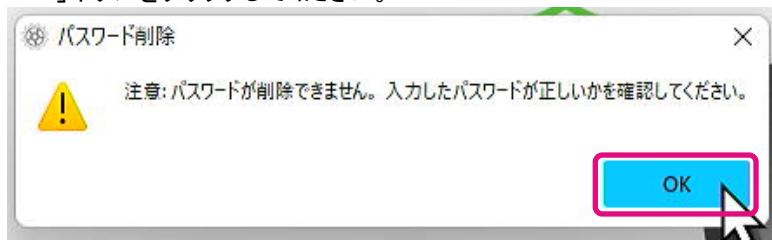


9. パスワードが削除され以下が表示されます。

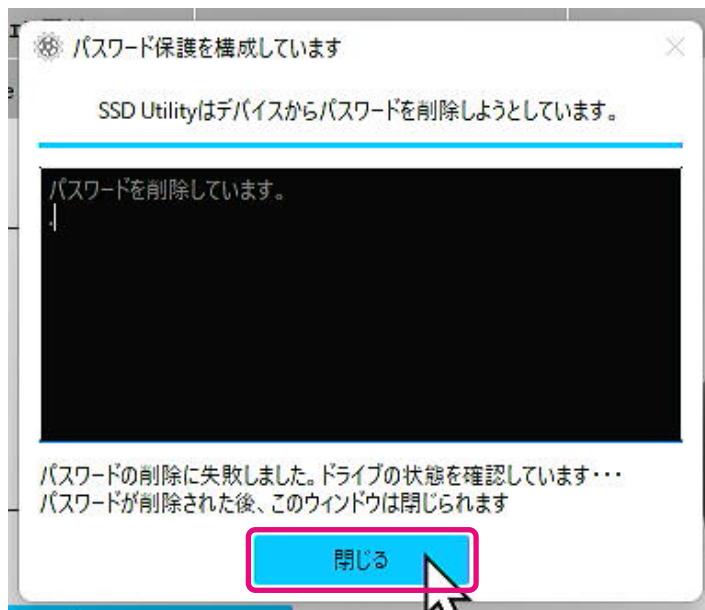


以上で「パスワード削除」手順は終了です。

「パスワード削除」の際に間違ったスワードを入力した場合、以下のようなポップアップが表示されます。
「OK」ボタンをクリックしてください。



「閉じる」ボタンをクリックしてポップアップを閉じてください。



5回連続で間違ったパスワードを入力した場合、「パスワード削除」ボタンは灰色で表示されクリックできなくなります。USBポートから対象デバイスを取り外し再接続していただくことで試行回数をリセットできますが、デバイスはロックされてしまいます。パスワードがわからない場合ロックが解除できずデバイス内のデータへアクセスできなくなりますのでデバイスを挿抜される前に、データを別のデバイスにコピーしておくことをおすすめします。デバイスを再接続し「デバイスのロック解除」をした後、再度「パスワード削除」を実行してください。



正しいパスワードがわからない場合は「パスワード削除」はできません。その場合Revert Deviceを実行することでパスワード保護機能を含むSSD内の情報をリセットすることができます。これによりパスワード保護機能を無効にすることができますが、SSD内のデータはすべて削除されるため「ディスクの初期化」が必要な状態になります。Windowsの「ディスクの管理」などで対象のSSDに対して「ディスクの初期化」を実行してからご使用ください。

「パスワードの変更」手順:

1. 「ディスク情報」ボタンをクリックし、「セキュリティ」ボタンをクリックしてください。



2. 対象のデバイスがロックされている場合、以下が表示されます。「デバイスのロック解除」手順に従ってデバイスのロックを解除してください。



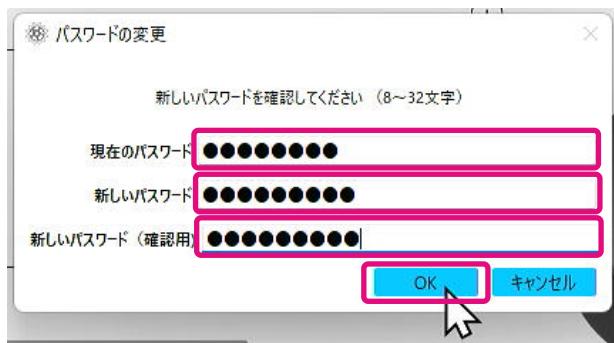
デバイスのロックが解除されている場合は次の手順にお進みください。

3、「パスワードの変更」ボタンをクリックしてください。

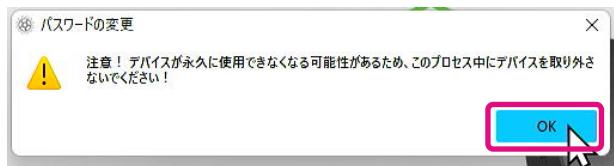


4、表示されたポップアップに現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。パスワードは8~32文字の任意の半角英数字(a~z, A~Z, 0~9。スペースは使用できません)で設定するようご注意ください。

⚠ 注意: パスワードを紛失すると、デバイスはロックされユーザーデータ領域へのアクセスができなくなります。パスワードは「デバイスのロック解除」、「パスワードの変更」や「パスワード削除」をする際に必要になりますので必ず保管してください。



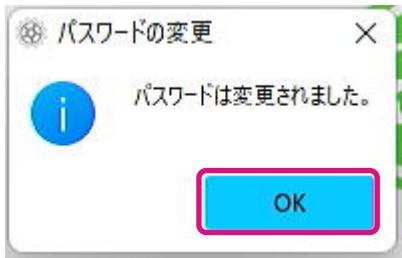
5、注意が表示されます。内容をご確認の上「OK」ボタンをクリックしてください。



6、パスワード保護の構成が始まります。終了するまでお待ちください。

⚠ 注意: 終了するまでデバイスを取り外さないでください。

7. パスワードは変更され、ポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



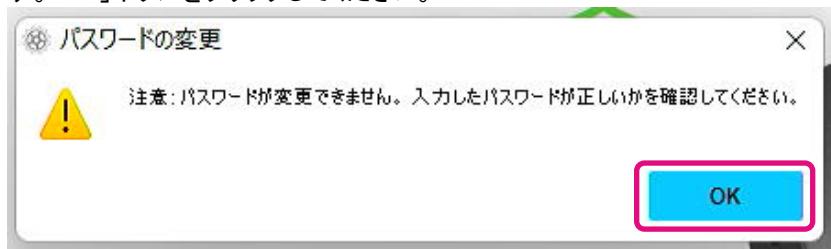
8. パスワードが変更され、以下が表示されます。



デバイスをロックしたい場合は、対象のデバイスをUSBポートから安全に取り外した後、再度接続しなおしてください。が表示されていればデバイスはロックされデバイス内のユーザーデータ領域にアクセスできません。

以上で「パスワードの変更」手順は終了です。

「パスワードの変更」の際に間違ったスワードを入力した場合、以下のようなポップアップが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



5回連続で間違ったパスワードを入力した場合、「パスワードの変更」ボタンは灰色で表示されクリックできなくなります。USBポートから対象デバイスを安全に取り外し再接続していただくことで試行回数をリセットできますが、デバイスはロックされてしまいます。パスワードがわからない場合ロックが解除できずデバイス内のデータへアクセスできなくなりますのでデバイスを挿抜される前に、データを別のデバイスにコピーしておくことをおすすめします。デバイスを再接続し「デバイスのロック解除」をした後、再度「パスワードの変更」を実行してください。

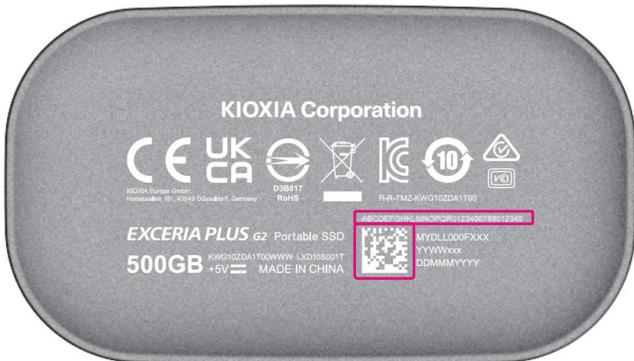


正しいパスワードがわからない場合は「パスワードの変更」はできません。その場合Revert Deviceを実行することでパスワード保護機能を含むSSD内の情報をリセットすることができます。これによりパスワード保護機能を無効にすることができますが、SSD内のデータはすべて削除されるため「ディスクの初期化」が必要な状態になります。Windowsの「ディスクの管理」などで対象のSSDに対して「ディスクの初期化」を実行してからご使用ください。

PSIDについて

PSID (Physical Security ID)は、Revert Deviceを実行するために必要な、製品ごとに割り当てられたセキュリティ識別子です。Revert Device可能な製品はSSD UtilityのRevert Deviceを実行することで強制的にSSDのパスワードロックを解除し、パスワードを含むすべてのデータを削除することができます。

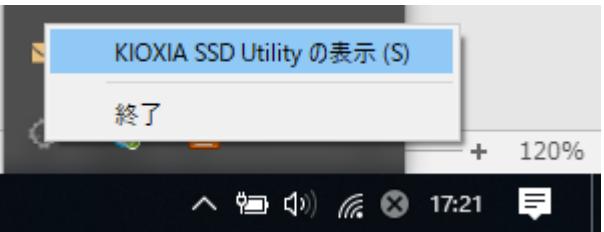
EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSDのPSIDは下図の通り対象SSDの裏面に32文字の英数字で記載されています。また2次元コード(Data Matrix)から「シリアル番号, PSID」として読み取ることができます。



対象製品

オプション	タスク	機能	EXCERIA PRO G2 SSD	EXCERIA PRO SSD	EXCERIA PLUS G4 SSD	EXCERIA PLUS G3 SSD	EXCERIA PLUS G2 SSD	EXCERIA PLUS SSD	EXCERIA G3 SSD	EXCERIA G2 SSD	EXCERIA SSD	EXCERIA BASIC SSD	EXCERIA with Heatsink SSD	EXCERIA SATA SSD	EXCERIA PLUS G2 ポータブルSSD	EXCERIA PLUS ポータブルSSD	EXCERIA ポータブルSSD XS700	備考
ディスク情報	概要	容量	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		健康状態	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		SSDのセンサー温度	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		インターフェース	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		Host Memory Buffer			✓	✓			✓			✓						
	ファームウェア更新	ファームウェア更新	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		SMART	SMART	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		アラート	アラート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		SSD 詳細	SSD 詳細	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		セキュリティ	パスワードによる保護											✓	✓	✓	✓	
	Secure Erase	Secure Erase											✓	✓	✓	✓	✓	
		Revert Device											✓					
	フォーマットNVMe	フォーマットNVMe	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
システム	-	システム詳細	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
設定	-	言語	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		ロギング	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		モニタリング	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ヘルプ	-	お問合せ先	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		SSD Utilityについて	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		サポートパッケージの保存	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

エラーメッセージ

SSD Utility エラーメッセージ	いつエラーメッセージが表 示されるか	エラー内容と対処方法
すでにコピーがこのシステム上 で実行されているためSSD Utilityを実行することができ ません	SSD Utility実行開始時	<p>SSD Utilityはすでに実行されています。複数のSSD Utilityを同 時に実行することはできません。</p> <p>このメッセージが表示されているポップアップウインドウを閉じてから、タスクバーの通知領域のSSD Utilityアイコンのメニューから「KIOXIA SSD Utilityの表示(S)」を選択して実行済みのSSD Utilityを表示してください。</p> 
Secure Erase に失敗しました	Secure Erase時	<p>Secure Eraseが正しく完了できていません。再度お試しいただいた場合においてもSecure Eraseが正しく完了できない際は、他のUSBポートやSATAポートに削除対象のSSDを接続してお試しください。</p> <p>上述の対応を行っていただいてもなおSecure Eraseできない場合はキオクシアお客様サポートへお問い合わせください。</p>
ファームウェア更新に失敗しま した	ファームウェア更新時	<p>ファームウェアの更新が正しく完了できていません。再度お試しいただいた場合においてもファームウェアの更新が正しく完了できなかった際は、他のUSBポートやSATAポートに更新対象のSSDを接続してお試しください。</p> <p>上述の対応を行っていただいてもなおファームウェアの更新ができない場合はキオクシアお客様サポートへお問い合わせください。</p>
予期しないエラー、サポートパ ッケージを送信してください。	SSD Utility内のすべての表 示画面	<p>キオクシアお客様サポートへサポートパッケージを送付してください。</p> <p>サポートパッケージ(zipファイル)は以下の手順で保存できます：「ヘルプ」オプションの「サポートパッケージの保存」に表示されて いる「保存」ボタンをクリックしてください</p> 
直ちにSSD Utilityを再インスト ールしてください。	SSD Utility実行時	<p>SSD Utilityの実行に必要な重要なファイルが破損/欠落している と考えられます。</p> <p>SSD Utilityアンインストールした後、再インストールしてください。</p>
最大試行回数を超えました。ド ライブの電源を入れ直してから (USBポートからドライブを取り 外して再挿入)再試行してくだ さい。	「デバイスのロック解除」時	<p>連続して間違ったパスワードを入力してしまったためロックの解除 ができませんでした。</p> <p>USBポートから対象ドライブを安全に取り外し、再度挿入してから デバイスのロック解除を再試行してください。</p>
このポータブルSSDのパスワ ードが正しく設定されていませ ん。USBポートからドライブを 取り外して再挿入し、電源を入 れ直してください。	ポータブルSSDの「パスワー ドの設定」時	USBポートからドライブを安全に取り外して再挿入し、「パスワード の設定」を再試行してください。

「パスワードが間違っています」	「デバイスのロック解除」時	入力したパスワードが間違っています。ポップアップを閉じてから正しいパスワードを入力し直してください
「パスワード保護の構成に失敗しました。技術サポートにお問い合わせください。」	「パスワードの設定」後	「パスワードの設定」に失敗してしまったと考えられます。「パスワードの削除」をお試しください。「パスワードの削除」ができるない場合はキオクシアお客様サポートへお問い合わせください。
「最大試行回数に達しました。ユーザーパスワードを削除するにはこのウィンドウを閉じ、表示内容に従ってマスターパスワードを使用してください。または[閉じる]ボタンをクリックし、パスワードの試行回数をリセットしてください。」	「パスワード削除」時	連続して間違ったパスワードを入力してしまったためパスワードの削除ができませんでした。 [閉じる]ボタンをクリックし、パスワードの試行回数をリセットしてから「パスワード削除」を再試行してください。
「正常にRevert Deviceが完了しませんでした。再度PSIDを確認しRevert Deviceを実行してください。」	「Revert Device」時	PSIDが間違っていないかを確認した後、「キャンセル」ボタンをクリックしてこのポップアップを閉じた後に再度「Revert Device」を実行し、正しいPSIDを入力してください。 PSIDが正しくてもこのメッセージ表示された場合は、Revert Deviceが中途半端に実行された可能性があります。当該SSDがUSBポートに正規のUSBケーブルでしっかりと接続されていることを確認して下さい。(USBポートに異常があることも考えられますので、別のUSBポートに接続しなおすことをおすすめします。) 上述の内容を確認した後に、正しいPSIDで再度「Revert Device」を実行してください。
「「パスワードの設定」に失敗しました。デバイスを再接続し、「パスワードの設定」を再試行する前にRevert Deviceを実行して失敗したパスワード設定を消去してください。 注意: デバイスのデータを保持したい場合は、Revert Deviceを実行する前にデータをコピーしてください。」	「パスワードの設定」時	SSD内部の構成情報が破損しているため「パスワードの設定」が実行できない場合にこのメッセージが表示されます。 例えば、「過去にRevert Deviceの処理中に問題が発生し途中で失敗した」といったことが原因と考えられます。 過去にRevert Deviceに失敗したことがある場合は、当該SSDがUSBポートに正規のUSBケーブルでしっかりと接続されていることを確認した後に再度「Revert Device」を実行してください(USBポートに異常があることも考えられますので、別のUSBポートに接続しなおしてから再度「Revert Device」を実行することをおすすめします。)

ブート可能メディア エラーメッセージ	いつエラーメッセージが表示されるか	エラー原因と対処方法
Serial number xxxxxxxxxxxxxxx not found	ブート可能メディア作成済みのUSBフラッシュドライブからブートした場合	ブート可能メディアを作成した際に選択されたSSDが見つかりませんでした。 ブート可能メディアを作成する際に選択したSSDがコンピュータに接続されていることを確認してください。また、コンピュータにサポート対象外のSSDが接続されている場合はそれらを取り外してから再度お試しください。
Segmentation fault	ブート可能メディア作成済みのUSBフラッシュドライブからブートした場合	ブート可能メディアのプログラムが正しく実行できていない可能性があります。 コンピュータにサポート対象外のSSDが接続されている場合はそれらを取り外してから再度お試しください。

商標について

- NVMeは、NVM Express, Inc.の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- Windows、Microsoftは、Microsoft group of companiesの商標です。
- Intelは、Intel Corporationまたはその関連会社の商標です。

その他記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。